

図-6 健常人とがん患者の免疫カグレードの比較
がん患者の免疫カグレードの低いことが明瞭に分かる。

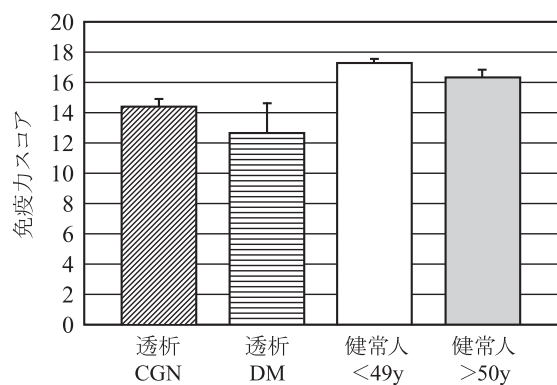


図-7 血液透析中の腎機能不全患者と健常人の免疫カスコアの比較

透析 CGN：慢性糸球体腎炎による腎機能不全のため 10 年以上透析中の患者

透析 DM：糖尿病性腎症による腎機能不全のため 10 年以上透析中の患者

健常人 < 49y：49 歳以下の健常人

健常人 > 50y：50 歳以上の健常人

血液透析患者の免疫カスコアが健常人に比べて有意に低い。なかでも糖尿病性腎症の患者が低値を示す。

腎機能不全になり血液透析をしている患者では、免疫機能が低下すると言われている。実際に 10～20 年にわたり血液透析治療を受けている患者の免疫力を測定したのが図-7 である。同年齢層の健常人と比べてみても、透析患者では明らかに免疫カスコアが低下している。

腎機能不全にもいろいろ原因があるが、我々が対象としたのは慢性糸球体腎炎と糖尿病性腎症で、興味あることは、糖尿病患者の方が低下傾向が大きいことである。

5. 免疫カ回復について

免疫カが低下していれば、回復する必要があ

る。この場合も、必要なことは免疫カの測定である。免疫カの回復に大事なことは、免疫カ低下をもたらしている原因を明らかにすることである。前項に述べたように、がんであったり、腎機能不全があったり、糖尿病があれば、免疫カは低下する。しかし、それらは原因の一部に過ぎない。相談に来られる方とよく話をすると、生活習慣、職場環境、運動習慣や栄養状態に原因があることがある。若い人たちに多いのは、仕事上の無理が重なったストレスである。

高齢者においても、免疫カ低下の原因の一つは何らかの基礎疾患があること、もう一つは生活習慣、運動習慣や栄養状態にある。健康のためと思ってジムに通っている運動マニアでも、運動が過剰になれば免疫カは低下する。そのような日頃の生活態度を変えるだけで、免疫カはかなり回復する。

実験的なものを含めて、積極的な免疫カ回復方法を列挙すると、①栄養調節、②抗酸化物質、③ホルモン補充、④ワクチン、⑤漢方補剤、⑥低用量の抗がん剤、⑦活性化 T 細胞輸注法などがある⁴⁾。

5.1 栄養調節

免疫カの維持・回復には栄養条件は最も大事な点である。栄養失調状態、なかでも蛋白質の摂取不足は免疫カの低下をもたらす。第二次世界大戦後、日本人の平均寿命が延びた原因の一つは蛋白質を中心とした栄養改善であった。

一方において、カロリー制限が健康に良く、寿命を延ばす効果があると宣伝されている。実験で飼育されているラット・マウスは、ふんだんに餌が与えられ、過剰給餌の状態にある。そうしたラット・マウスでは、カロリー制限により病気の発生が減少、あるいは消失し、免疫カも回復する。

米国では、カロリー制限による効果がげっ歯類だけでなくヒトでも見られるだろうと期待した実験が行われている。それはサルを使った実験で、現在進行中である。カロリー制限により寿命延長をもたらす実験でそのメカニズムが明らかになれば、カロリー制限をしなくても、投薬のみで、同じ効果が得られることを期待して